

## 一般社団法人日本体力医学会評議員申請要項

今年度より評議員選考内規が下記のように改定され、選考基準が若干緩和されましたので、評議員の資格を満たすと思われる候補者について奮って推薦・申請いただくようお願い申し上げます。

### I. 申請資格：下記，**評議員選考内規**をご参照下さい。

#### ◎日本体力医学会評議員選考委員会評議員選考内規

昭和62年10月7日改定  
平成6年11月18日改定  
平成24年7月20日改定  
平成28年8月26日改定  
令和2年2月21日改定

1. 評議員候補者は、通算7年以上の正会員歴を有していなければならない。
2. 評議員候補者は、7年以上の研究歴を有し、体力医学、運動生理学、スポーツ医学などに関する十分な研究業績の著書、学術論文などの業績発表を有していなければならない。
3. 評議員候補者は、評議員3名の推薦をうけて、入会年月日を明記した履歴書および業績目録を添えて、評議員会開催2カ月前迄に評議員選考委員会に申請しなければならない。
4. 日本体力医学会の学会運営に必要と認められるものは、必ずしも上記条件を満たしていなくとも評議員選考委員会の議を経て、その推薦により評議員候補者となることができる。
5. 評議員選考委員会は、推薦された評議員候補者を審議し、評議員の資格を有すると認められたものを、理事会へ報告し、評議員会に推薦する。

#### 付 則

- 1) 体力医学に関係する領域の学会で評議員を務めるかこの領域で博士の学位を取得しており、内規2を満たす研究歴と研究業績を認め、本学会の正会員歴が4年以上継続している場合には、評議員に推薦することができる。
- 2) 日本体力医学会より授与された日本体力医学会健康科学アドバイザーの称号を有しており、内規2を満たす研究歴と研究業績を認め、本学会の正会員歴が4年以上継続している場合には、評議員に推薦することができる。
- 3) 研究業績については、原則として、体力医学に関係する審査を受けた学術論文（原著論文、総説、短報、など）を筆頭著者として3編以上発表していることを基準として、評議員選考委員会で審議する。
- 4) 体力医学に関係する学会の学術大会等で大会長や組織委員会等より指名を受けた指定演題（特別講演、シンポジウム等）の口演発表を行った場合には、付則3)の審査を受けた学術論文の1編と同等の研究業績として評価し、評議員選考委員会で審議する。
- 5) 申請書類の送付先は 一般社団法人 学会支援機構内 日本体力医学会評議員選考委員会とする。

### II. 申請手続きについて

下記書類をHPの評議員申請 (<http://www.jspfsm.umin.ne.jp/councilor/index.htm>) からダウンロードの上、ご記入・ご提出下さい。

- 1) 評議員推薦書（評議員3名の署名・捺印が必要です）
- 2) 履歴書
- 3) 研究業績

# 申請書類の書式に不備があると審査不可として再提出を依頼する事があるので、規定に則て正確に記載して下さい。

Ⅲ. 承認までの流れについて

- ① 評議員申請書受付締め切り：2020年6月末日（東京オリンピック・パラリンピック開催の関係から例年より2週間程早く受付締め切りになるのでご注意ください）
- ② 提出期間満了後に評議員選考委員会で確認・選考を行う。
- ③ 9月理事会および評議員会総会において報告・承認を行う。

■ 申請書提出先

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 ユニゾ小石川アーバンビル4階  
学会支援機構内  
一般社団法人日本体力医学会評議員選考委員会  
Tel：03-5981-6015（学会専用） Fax：03-5981-6012（学会支援機構）  
E-mail：jspfsm@asas-mail.jp

評議員選考委員会 委員長 大野 誠

## 一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2019年11月）議事録

日 時：2019年11月15日（金）午後5時30分～6時50分

場 所：八重洲倶楽部 第2・3会議室

議 長：鈴木政登理事長

出席者：鈴木政登理事長、

碓井外幸，西平賀昭各副理事長、

武政 徹常務理事，井福裕俊，太田 真、

大野 誠，後藤勝正，小山勝弘，須田和裕、

須永美歌子，田中喜代次，中里浩一，浜岡隆文、

前田清司，宮内 卓，宮川俊平、

和気秀文各理事，小林康孝，定本朋子各監事、

徳田修司第75回大会長、

加藤 公第76回大会長

欠席者：赤間高雄，栗原 敏，下光輝一，新開省二、

竹森 重，永富良一，成田和穂各理事、

井上 茂，清田 寛各監事

### 【審議事項】

#### 1. 前回議事録の承認（鈴木理事長）

理事会終了時まで訂正等がなかった場合には、自動的に承認されることにした。

#### 2. 新規事業企画（案）について（鈴木理事長）

現執行役員に就任以来、2期4年が経過し3期目に入った。4年かけて事業内容を見直し、必然性の低い事業を廃止、若しくは縮小することによって毎年度の収支バランスがとれ、経済的運用基盤を安定させることが出来た。その結果、1億円近い正味財産を保持することが出来た。この保有財産の一部を使って、本学会の学術研究の質の向上および研究成果の社会還元を目標とした新規事業の展開に使いたい旨提案された。

学術委員会と編集委員会を中心にして、今日までに学会年次大会で発表された体力医学会会員の研究成果や“体力科学”および“JPFSM”に掲載された論文の中から、下記に示す2つの課題に関連する研究成果を中心にピックアップし、それらを整理・統合して“体力科学・特集号”または“体力科学・増刊号”として発刊し、さらに、これらを出版社から“国民の健康寿命延伸に寄与する刊行物”として出版する。この事業は日本体力医学会の研究成果を社会に還元することを目的として行う。

##### 1) 肥満に関連する出版物

現在のわが国の生活習慣病の最上流因子は肥満である。最近、体力医学会で発表される肥満関連演題数は極めて少ないが、“肥満問題”が解決したわけではない。日本医学会に加盟している129学会のうち肥満に関連する23学会が集結して、領域横断的肥満対策ワーキンググループ(WG)が3年前に設立され、昨年10月“神戸宣言2018”が発せられた。肥満問題は、単に内科学会や肥満学会のみによる対応には限界があり、肥満研究に関連する学会の協力の基に肥満および肥満症に対応しようとの試みである。

日本体力医学会もこのWGに加わっており、本学会においてもこの肥満問題の対応策を提示しなければならない。肥満者増加を根本的に解決するために

は、胎児期から中年期および高齢期に到るまでの食事内容や日常の身体活動を含む生活環境変化への適正な対応が求められる。

##### 2) 高齢者の健康問題に関連する出版物

わが国の高齢化率（27.3%）は世界一であり、介護・看護等医療経済的観点からも自立した日常生活ができる健康寿命の延伸が求められている。近年の体力医学会年次大会一般演題およびシンポジウム等において、高齢者特有の認知症、フレイルやロコモティブシンドローム等に関する研究成果が多く発表されている。これらの知見を整理・統合して刊行物とし、健康寿命延伸の一助としたい。これらの企画案に対し、来年度中には詳細な方向性を決定したい、旨報告された。

上記理事長提案の“新規事業案”に対し、田中喜代次理事より、肥満問題に関しては肥満学会が、高齢者の健康問題に関しては老年医学会が其々専門的立場から対応している。もし、体力医学会が肥満問題や高齢者の健康問題を取り扱うとすれば、その“オリジナリティ”は何かを明確にしなければならない、という意見が出された。この意見に対し、鈴木理事長より次のように回答された。そもそも肥満学会、内科学会のみでは“肥満問題は手に負えない”ということで、領域横断的肥満対策ワーキンググループ(WG)が設立されたのであり、今回の茨城大会のシンポジウムにおいても体力医学会、肥満学会、サルコペニア・フレイル学会合同シンポジウムが行われた。このように、肥満問題や高齢者問題は多領域の研究者の叡智の結集によって解決可能な問題であり、体力医学会のみの“オリジナリティ”によって達成される問題ではない。

#### 3. 学会賞選考委員入れ換えについて（碓井学術委員長）

配布資料に基づき、学会賞選考委員入れ換への提案がされ、5名の入れ換えが承認された。

#### 4. 学術刊行物“メディカルフィットネス”の学会HPを活用した販売促進について（須永広報委員長）

近日中に日本体力医学会のHPを改正し、学会HP上に掲示板の様な形で専用バナーを作り、学会から紹介したい内容を閲覧できるようにすることとしたと報告された。導入時はメディカルフィットネスを紹介する予定である。また、他学会にも随時紹介していくこととする。

#### 5. 日本体力医学会健康科学アドバイザー®新規申請者（追加）について（碓井称号委員長）

配布資料に基づき、日本体力医学会健康科学アドバイザー®の新規申請者5名の氏名リストが提示され、承認された。

#### 6. シニア会員候補者について（武政総務委員長）

配布資料に基づき、シニア会員の申請資格をクリアしている方には、昨年同様、個別にメール通知または郵送でシニア会員に該当することを事務局から連絡す

ることとした。

## 7. その他

### 1) ガイドライン検討委員会の追加委員について (宮内委員長)

ガイドライン検討委員会において新たに3名の委員が追加推薦され、承認された。

新委員

- ・勝村俊仁 (戸田中央総合病院リハビリテーション科)
- ・永富良一 (東北大学大学院医工学研究科)
- ・小熊祐子 (慶應義塾大学スポーツ医学研究センター)

### 2) 学会賞の取り下げについて (鈴木理事長)

2018年に発生した“診療放射線技師法違反”で起訴された件に関わる論文“体力科学59(3): 291-301, 2010”が2019年3月20日付で真田樹義氏(筆頭著者)から本掲載論文の取り下げ申請があった。理事会ではこの申請を受理した。この論文は2011年度の日本体力医学会賞受賞論文であり、本論文取り下げに伴い、2019年9月4日付で本賞に付随した副賞60万円の返還を求め、2019年10月14日付で60万円返還された、ことが報告された。

### 3) 日本医学会連合若手研究者の相互交流について (鈴木理事長)

日本医学会連合から社会部会加盟学会(19団体)に所属する若手研究者の相互交流を通じて、加盟学会間の交流を図り、若手研究者の育成とキャリア形成の充実、形成をするため「日本医学会連合社会部会若手リトリート2019」に参加する方を各学会3名まで募集がされていると報告された。

### 4) 2021年ECSS-JPFISM交流シンポジウム (和気渉外副委員長)

2021年ECSS-JPFISM交流シンポジウムの開催にあたり、企画案公募をしたところ、応募者1名が決定したことが報告され、承認された。

## 【報告事項】

### 1. 各種委員会報告

#### 1) 総務委員会 (武政委員長)

2022年栃木大会についての大会長候補者等進捗状況が報告された。

#### 2) 編集委員会 (後藤委員長)

資料に基づき、「JPFISM」誌、「体力科学」誌の投稿・掲載状況が報告された。

編集委員会に1名辞退者が出たため、1名追加提案され承認された。

また、JPFISM海外編集委員候補者の報告がなされた。

JPFISM海外編集委員

- 1 オーストラリア The University of Melbourne

Prof. Gordon S. Lynch 骨格筋、骨格筋障害

2 中国 Ningbo University

Dr. Xiaoguang Zhao 運動生理学

3 韓国 Kyungpook National University

Dr. MaengyuKim 運動生理学, 生化学

4 韓国 Korea National Sport University

Dr. Chae-Hee Park 高齢者のフレイル

5 米国 University of Minnesota

Dr. Atsushi Asakura 骨格筋疾患, 分子生物学

6 米国 University of Florida

Dr. Jasenka Zubcevic 循環, 血液, 遺伝子

### 3) 倫理委員会 (鈴木理事長)

学術集会への演題応募に際しても倫理審査を経た研究であることが求められる可能性が高くなった。倫理委員会が設置されている研究機関等に所属している会員は倫理審査を受けることが出来、これらの方々には学会発表に先立って倫理審査を受けるよう促すことは可能である。しかし、大学等を定年退職し、どこの研究機関にも所属していない会員もいる。このような会員が体力医学会の倫理審査を受ける場合、20万円近くの審査料が必要となる。体力医学会倫理委員会での研究カテゴリーを何段階かに分類し、無侵襲で、被験者は本人のような介入研究または観察研究の場合は簡単な倫理審査(審査料も極めて低額)を行い、「倫理審査済」のような証明を出す、などの案が提案された。この問題に関して、今後倫理委員会と編集委員会で議論して頂くことになった。

### 2. 第74回(茨城)大会の報告(田中第74回大会長)

田中喜代次大会長より、次のような報告がなされた。参加者1,918名、大会開催費用については支払いを済ませ、公認会計士の監査を受けているところである。監査終了後、次回理事会で大会の収支報告をする予定である。

### 3. 第75回(鹿児島)大会の進捗状況

(徳田第75回大会長)

配布資料に基づき、大会の準備状況等について報告された。

会場：鹿児島大学郡元キャンパス

会期：2020年9月24日(木)～26日(土)

テーマ：チェストいけ！日本体力医学会

－健康長寿を支える体力医学の未来－

### 4. 第76回(三重)大会の進捗状況(加藤第76回大会長)

配布資料に基づき、大会の準備状況等について報告された。

会場：三重県総合文化センター

会期：2021年9月17日(金)～19日(日)

## 第22回日本体力医学会北海道地方会大会のご案内

日時：令和2年4月18日(土)

会場：北海道大学大学院保健科学研究院E106多目的室  
(〒060-0812 札幌市北区北12条西5丁目)

プログラム (予定)

13:30～	受付
13:45	開会
13:50～14:50	特別講演
15:00～16:15	一般演題発表
16:20～16:40	総会
16:40	閉会

参加申し込み

事前の申し込みはございません。学会大会にご参加の方は、当日の会場受付にて参加費(1,000円)をお支払いください。学生の方は、学生証の提示により参加費が無料になります(大学院生は除く)。

特別講演

題目：女性アスリートのコンディショニング科学  
 演者：須永美歌子先生  
 (日本体育大学児童スポーツ教育学部)

一般演題の発表について

- ・パソコンを用いた口頭発表のみです。発表原稿ファイルはご自身のノートパソコン等でご用意くださ

い。またバックアップ用ファイルをUSBメモリにご用意ください。発表時のパソコン操作は、演者ご自身で行ってください。

- ・会場プロジェクターの接続端子はD-Sub15ピンです。これ以外の端子を装備したパソコンをご使用の場合は、各自で変換アダプターをご用意ください。
- ・発表時間は8分(発表6分、質疑応答2分)を予定しておりますが、演題数によって時間を多少変更させていただく可能性があります。発表者には演題数が確定次第、発表時間について連絡を差し上げるように致します。

懇親会のご案内

懇親会につきましては、当日の受付にてご案内させていただきます。

大会事務局

〒060-0812  
 札幌市北区北12条西5丁目  
 北海道大学保健科学研究院機能回復学分野  
 会長 遠山晴一  
 事務局 寒川美奈 石田知也  
 E-mail jspfsm-hokkaido@hs.hokudai.ac.jp

## 第32回日本体力医学会北陸地方会大会のご案内

開催日：令和2年6月7日(日)

会場：福井県立大学 講堂 3F多目的ホール  
(〒910-1195 福井県吉田郡永平寺町松岡兼定島  
4-1-1)

プログラム (予定)：

- 10：00～11：00 理事会  
11：10～11：40 総会  
(学会員の方の参加をお願いします)  
11：50～13：00 懇親会 (参加者 (学会員や発表者)  
の方に軽食をご用意いたします)  
13：10～14：10 一般公開講演  
テーマ：「健康に長生きするためのコツとは？  
～フレイル予防のための運動習慣の重要性～」  
演者：荒井秀典先生 (国立研究開発法人国立長寿医  
療研究センター理事長)  
14：20～16：20 研究発表 (口頭発表)

参加・発表申込期間：

令和2年2月17日(月)～令和2年4月24日(金)  
※参加のみの方は大会当日参加の受付も行います。  
注) 準備の都合上, 事前の参加申込にご協力ください。

参加費：無料 (発表者も無料)

参加・発表申込方法：

第32回日本体力医学会北陸地方会大会参加・発表申  
込書にご記入いただき, 本大会事務局宛にご郵送, ま  
たはFAXにて提出してください。電子版 (Microsoft  
Wordファイル) で申込みをご希望される方は, 本大  
会事務局eメールアドレス宛にご請求ください。

予稿集用原稿提出 (発表者)：

発表者は予稿集用原稿 (※体力科学掲載原稿の作成要  
領に準拠) を作成し, 電子版 (Microsoft Wordファイル)  
を本大会事務局eメールアドレス宛に添付ファイル  
として提出してください。

※原稿提出締め切りは令和2年4月24日(金) とさせ  
ていただきます。

大会事務局

〒910-1195

福井県吉田郡永平寺町松岡兼定島4-1-1

福井県立大学看護福祉学部看護福祉学科

(平井研究室N460)

TEL：0776-61-6000 (内線：4460)

FAX：0776-61-6016

e-mail：thirai@fpu.ac.jp

発表方法

- 発表時間は15分 (発表10分, 質疑応答5分) です。
- 発表形式は液晶プロジェクター (PC, Microsoft PowerPointによる) とします。その他の機材等の使用をご希望の方は大会事務局にご相談ください。発表者はMicrosoft PowerPointによる発表用ファイルを作成し, USBメモリースティックなどの保存媒体に入れて当日の受付に提出して下さい。発表の際のノートパソコンは大会事務局で用意いたしますが, ご自身のノートパソコンをご使用いただいても結構です。(Macをご使用の場合は変換コネクタをご持参願います)
- 「受付」では, 発表ファイルの試写と, 大会事務局で用意したノートパソコン (OS: Windows) への保存ができます。
- 機器操作は発表者が行って下さい。

発表内容の「体力科学」への掲載について：

参加・発表申込書の所定の欄に掲載希望有無をご記入  
ください。

※掲載料

日本体力医学会正会員：無料

非会員：3,000円 (当日, 「受付」にて  
お支払いください)

【体力科学掲載原稿の作成要領】

- 文字数900字 (演題から本文までの総文字数), 25字  
×36行を厳守する。
- 体裁は2段組で, 右段は余白とする。
- 演題名, 発表者氏名・共同研究者氏名, 所属名を和  
文で明記する。  
※共同研究者名を明記する場合は, 発表者名を含め,  
所属名と共に上付き数字を記す。

学会参加証明書の発行について：

ご希望の方は「受付」でお申し出ください。

## 第31回日本体力医学会スポーツ医学研修会のご案内（第2報）

日本体力医学会学術委員会主催の本研修会は基礎コースと応用コースに分かれ、それぞれ2日間、講義と実習を行います。実習は救急救命法、健常者や生活習慣病罹患者に対する運動処方、傷害予防・機能回復の筋力トレーニングおよびテーピングなどです。アスリートを対象とした研修内容ではありませんのでご注意ください。

全てのコースを受講して修了試験に合格し、所定の手続きをとると「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」の称号を受けることができます。

称号取得を希望される方は、日本体力医学会に入会し、会員になっていただく必要があります。

この研修会には日本体力医学会非会員の方も参加できます。また、他の研修会を受講し、資格や称号を取得された方で、それらの更新に必要な認定単位取得のために本研修会を受講されても結構です。受講証明書を発行いたします。さらに受講者には本研修会のテキストとともに副読本として「医師・コメディカルのためのメディカルフィットネス」(社会保険研究所発刊、日本体力医学会著・編)を無料で配布します。

尚、実習を行う関係上、各年度の参加人数に制限がありますことをご了承下さい。

令和2年1月7日

日本体力医学会学術委員会・スポーツ医学研修会実行委員会

中里浩一 岡本孝信 須永美歌子 進藤大典 太田 眞 蕪木智子 清水智美 宇高 潤

### 1. 会 場

日本体育大学東京世田谷キャンパス、各教室および中央測定室など

### 2. 日時および研修内容

#### (I) 基礎コース

運動生理学やスポーツ医学等の基礎的事項を前提に、さらに進んだ生理学(神経・筋、呼吸、循環、代謝など)や栄養学および運動処方の基礎などを中心に学びます。

2020年7月4日(土)

9:00~10:40	オリエンテーション、有疾患に対する運動療法の考え方(含COPD,腎症)
10:40~10:50	休憩
10:50~11:50	高次脳機能と運動 - 認知症予防のための運動など-
11:50~12:50	筋骨格系組織と運動 - 寝たきり予防のための運動など-
12:50~13:50	昼食・休憩
13:50~14:50	循環と運動
14:50~15:50	幼児期および成長期における運動指導について
15:50~16:00	休憩
16:00~17:00	運動、栄養、生活習慣病予防について
懇親会(会費3000円,参加自由)	

2020年7月5日(日)

9:00~10:30	運動処方の基礎
10:30~10:40	休憩
10:40~12:10	運動器疾患に対する運動療法
12:10~13:10	休憩
13:10~14:40	心血管系疾患の運動処方および服薬者の運動時注意点
14:40~14:50	休憩
14:50~16:20	メタボリックシンドロームに対する運動療法

## (II) 応用コース

基本的な運動指導の実際について学びます。実習では自転車エルゴメータによる運動負荷試験をもとに運動処方を作成します。また、呼吸機能検査、体組成測定法、テーピングや筋力トレーニング実習も行います。

2020年9月18日(金)

- 9:00~12:00 運動処方実習 (a) (トレッドミルおよび自転車エルゴメータを利用した運動負荷試験, 心電図記録, 呼吸機能検査, 乳酸測定など)
- 12:00~13:00 昼食・休憩
- 13:00~17:00 運動処方実習 (b), 尿検査, 体組成測定, 筋力/筋パワー測定など

2020年9月19日(土)

- 9:00~12:00 運動処方の実際 (前日の運動負荷試験で得られたデータを基に各被験者の運動処方を作成し, 実施する)
- 12:00~13:00 昼食・休憩
- 13:00~17:00 スポーツ傷害予防実習 (テーピング, 筋力/筋パワートレーニング, 救命救急実習)

### 3. 修了試験と称号について

基礎コースおよび応用コースの両コースを受講した方は、所定の修了試験を受験することができます。修了試験は2020年9月20日(日) 10:00~12:00に日本体育大学東京世田谷キャンパスで行います。修了試験の合格者には合格証を発行いたします。また、修了試験合格後、所定の手続きを経て、日本体力医学会健康科学アドバイザー®の称号を取得することができます。

※「日本体力医学会健康科学アドバイザー認定試験過去問集(正解/解説付)」(税込:2,000円)がありますので、是非ご利用下さい。下記の「9. 申込書送付先および問い合わせ先」へお申込み下さい。

### 4. テキスト

担当講師が用意した講義資料を簡略なテキスト化し、それに準じて講義が行われます。また、プレゼンテーション資料も必要に応じて当日配布致します。

### 5. 受講料

受講料は(I)基礎コース、(II)応用コースおよび修了試験の全てを受講する場合は50,000円、単科コース(基礎コース、応用コースの各コースを単独受講)を受講する場合はそれぞれ25,000円(2日間コース)です。2コースの受講を原則としますが、定員に余裕があれば、単科コースの受講も可能です。その年度に受講しなかったコースを次年度以降に受講すれば、全コース受講後修了試験を受験することができます。尚、学生受講者は30,000円(基礎・応用コース)と致します。ただし学生証の呈示が必要です。

### 6. 受講資格と定員

スポーツ医学研修会受講資格は特に定めませんが、2コース受講後に行われる修了試験に合格し「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」の称号取得申請を希望する方は日本体力医学会会員でなければなりません。但し、自己研鑽のために本研修会を受講される方や他団体の資格や称号の登録更新のための認定単位取得が目的の場合は日本体力医学会会員になる必要はありません。

定員は各コース40名です。

### 7. その他

健康運動指導士、健康運動実践指導者の登録更新に必要な履修単位(60分1単位)について、基礎コースでは講義11.5単位、応用コースでは講義0.3単位および実習12.7単位がそれぞれ認定される予定です(2020年4月申請予定)。ま



た、THP（トータル・ヘルスプロモーション・プラン）のレベルアップ研修における基礎コース5単位、応用コース5単位が認定される予定です（2020年4月申請予定）。

#### 8. 申し込み方法

本研修会受講希望者は、葉書またはFAXで、日本体力医学会スポーツ医学研修会を受講したい旨を下記までご連絡下さい。仮申込受付後、申込書類をお送りいたしますので、要領に従いお申込下さい。なお、申込に際し、受講料をご案内の口座に2週間以内にお振込み下さい。お振込みをもって正式な申し込みとさせていただきます。定員に達し次第、締め切らせていただきますのでご了承下さい。受講票、受講料などの連絡は、受講通知とともに後日ご案内させていただきます。

なお、申し込みが20名に満たない場合には中止させていただきますのでご了承下さい。その時には受講料を払い戻しますが、本人都合による返金には応じられませんので、あらかじめご了承下さい。

※本学会ホームページの“お知らせ”にある、「スポーツ医学研修会」および「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」を確認し、手続きの参考にしてください。

#### 9. 申込書送付先および問い合わせ先

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13ユニゾ小石川アーバンビル4F  
 一般社団法人 学会支援機構内  
 日本体力医学会スポーツ医学研修会 係  
 電話：03-5981-6015 FAX：03-5981-6012  
 E-mail：jspfsm@asas-mail.jp

---

### 第31回日本体力医学会スポーツ医学研修会仮申込書

下記の通り、研修会の受講を申し込みます。（該当する□にレ印をつけてください。）

第31回 基礎コース

第31回 応用コース

試 験

氏 名 \_\_\_\_\_

連絡先 〒 \_\_\_\_\_

TEL： \_\_\_\_\_ E-Mail： \_\_\_\_\_

## 第41回バイオメカニズム学術講演会 (SOBIM2020 in 湘南平塚)

### ～テクノロジーとスポーツの融合～

－ 開催案内 －

**主催：**バイオメカニズム学会  
**会期：**2020年12月5日(土)-12月6日(日)  
**会場：**東海大学湘南キャンパス 17・19号館  
 (神奈川県平塚市北金目4-1-1)

#### ●講演会内容 (予定)

- ・基調講演
- ・シンポジウム
- ・オーガナイズドセッション
- ・ランチョンセミナー
- ・一般講演
- ・機器展示

#### ●一般演題発表募集

講演申込締切 2020年7月6日(月)  
 原稿投稿締切 2020年10月12日(月)

#### ●事前参加登録締切 2020年10月12日(月)

#### ●会場までの交通機関

小田急線(新宿より快速急行約60分, 小田原より約25分)「東海大学前」駅下車徒歩約15分

または『秦野駅行き』『下大槻団地行き』バス(約5分)で「東海大学北門」下車すぐ

またはJR東海道線「平塚」駅下車『東海大学行き』または『秦野駅行き』バス(約30分)で「東海大学正門前」下車徒歩約5分

#### ●第41回バイオメカニズム学術講演会運営事務局

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1  
 東海大学体育学部  
 E-mail : sobim2020@mlu-tokai.ac.jp  
 学術講演会WEB : 4月上旬公開予定

#### ●協賛団体 (予定)

計測自動制御学会, システム制御情報学会, 情報処理学会, 人工知能学会, 人体科学会, 精密工学会, 電気学会, 電子情報通信学会, 日本運動生理学会, 日本看護科学学会, 日本看護技術学会, 日本看護研究学会, 日本機械学会, 日本義肢装具学会, 日本義肢装具士協会, 日本建築学会, 日本作業療法士協会, 日本シミュレーション学会, 日本写真測量学会, 日本人工臓器学

会, 日本人類学会, 日本生活支援工学会, 日本整形外科学会, 日本生体医工学会, 日本生理学会, 日本体育学会, 日本体力医学会, 日本人間工学会, 日本バイオマテリアル学会, 日本バイオメカニクス学会, 日本福祉のまちづくり学会, 日本補綴歯科学会, 日本理学療法士協会, 日本リハビリテーション医学会, 日本リハビリテーション看護学会, 日本リハビリテーション工学協会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本臨床神経生理学学会, 日本臨床バイオメカニクス学会, 日本ロボット学会, 日本ロボット工業会, ヒューマンインタフェース学会, ライフサポート学会, 臨床歩行分析研究会, IEEE EMBS Japan Chapter, IEEE EMBS West Japan Chapter, 身体科学会

#### ●実行委員会 (予定)

顧問 問：小金澤鋼一(東海大学工学部)  
 実行委員長：山田 洋(東海大学体育学部)  
 事務局 長：小河原慶太(東海大学体育学部)  
 プログラム委員長：

植村隆志(東海大学体育学部)

#### 実行委員：

岩見雅人(東京農工大学工学研究院先端健康科学部門)  
 内山秀一(東海大学体育学部)  
 遠藤慎也(東海大学健康学部)  
 岡田英孝(電気通信大学大学院情報理工学研究科)  
 甲斐義弘(東海大学工学部)  
 加茂野有徳(昭和大学保健医療学部)  
 金 承革(常葉大学健康科学部)  
 小山孟志(東海大学スポーツ医科学研究所)  
 坂井一浩(人間総合科学大学保健医療学部)  
 清水新悟(北海道科学大学保健医療学部)  
 長尾秀行(国立スポーツ科学センタースポーツ科学部)  
 宮崎彰吾(静岡産業大学経営学部)  
 宮崎誠司(東海大学スポーツ医科学研究所)

#### 2021年度学術講演会委員：

井上 恒(香川大学創造工学部)

#### 常任理事・事業担当：

木塚朝博(筑波大学体育系)

## 編 集 後 記

「体力科学」第69巻2号をお届けいたします。本号は、原著論文3編およびJPFISM, Vol. 9, No. 2 (2020) の抄録などから構成されています。論文を投稿いただいた著者の皆様、ならびに査読をご担当いただいた先生方に厚くお礼を申し上げます。「体力科学」および「JPFISM」へのご投稿をぜひよろしく願いたします。

2020年オリンピック・パラリンピックイヤーで、近年、交通手段が発達し飛行機に比較的安価で乗ることができるようになり、またSNSなどにより人が移動しなくても世界中の人々と繋がりを持つことが可能となりました。そのため、とても多くの人々が世界中の人と容易に交流を持つことができ、オリンピックイヤーということもあり、海外の方々と日本で会う機会が多くありました。今回、これまでSNSやメールで連絡を何度も取り合っても、やはり直接会って話をする中で、研究やプロジェクトなどさまざまなことが飛躍的に進めることができると実感できました。インターネットの発展により、多くのことが合理化されているなかで、改めて人と人が会って話をする重要性を感じ、この<SNS連絡>と<直接会う>という2つのことも、研究と同じで<バランス>が重要であると感じました。日本は極東と言われているように、ヨーロッパやアメリカから遠方にあり、ヨーロッパやアメリカ在住の研究者に比べると、研究者間の交流

が限局してしまいがちになり、国外の研究者とはメールやSNSのみとなりがち印象です。もちろん、メールやSNSでの交流はとても大事だと思いますが、極東である欠点を発想の転換で利点に変え、世界中の研究者と顔を合わせて話をする機会をもっと持てるような方法やシステムを作るべきだと考えています。

いま、日本全体がオリンピックへ徐々に高まりを見せようとしたときに、コロナウイルス感染症が日本を襲ってきました。感染症とは専門外の医師ですので正確な言及ではありませんが、感染症は先手、先手を打つことが重要と考えてきました。しかし、このコロナウイルス感染症は、治療法が確立していないため先手を打つことが難しく、大きな問題であるという印象があります。研究では、多くの正確な信頼性のあるデータを集め、それを客観的（自分の想いを入れずに）に解析し、データ解析から素直に誠実に結論を導き、今後の研究方針を決めていくことが重要であります。しかし、途中で不誠実なデータ、解析や結論が入ると、その後続く研究者が多大な迷惑と無駄な時間を費やしてしまいます。未知なコロナ感染症に対する対応も、研究者マインドを持った多くの人が関わり、日本を救ってくれることを期待しています。

加藤 晴 康

### The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol.69, No.2

#### 体 力 科 学 第 69 巻 第 2 号

令和 2 年 3 月 25 日 印 刷  
令和 2 年 4 月 1 日 発 行

編集兼発行者  
発 行 所

編 集 事 務 局

印 刷 所

後 藤 勝 正  
一般社団法人日本体力医学会  
〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13  
ユニゾ小石川アーバンビル4階 学会支援機構内  
TEL: 03-5981-6015 FAX: 03-5981-6012  
E-mail: jspfsm@asas-mail.jp  
〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合 1-1  
鶴岡印刷株式会社内  
TEL: 0235-22-3120 FAX: 0235-22-3120  
E-mail: hj-tairyoku@turuin.co.jp  
〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合 1-1  
鶴岡印刷株式会社